

- 問1 ペリー来航後の江戸幕府の対外政策の変化について述べた説明のうち、1854年に締結された条約の内容とその背景として最も適切なものを選びなさい。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 異国船打払令を強化することで外国船を排除し、天皇を中心とした攘夷運動を支援することで幕府の権威を立て直そうとした。 | 2. 強硬な姿勢で来航したアメリカの要求に対し、戦争を回避するため、燃料や食料の供給を目的として二港を開き、開国へと踏み切った。 | 3. アメリカに領事裁判権を認め、日本側の関税自主権を喪失した不平等な条約を結び、五つの港で自由な貿易を開始した。 | 4. 清との間に対等な立場での国交を樹立し、欧米諸国からの圧力に対抗するための東アジア外交を優先させた。 |
|--|--|---|--|
- 問2 1858年に調印された日米修好通商条約に基づいて貿易が開始された後、日本国内では物価が急激に上昇し、社会が混乱に陥りました。この物価上昇を招いた背景について述べたものとして、最も適切なものはどれか。 (2026年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 欧米諸国から安価な農作物が大量に輸入されたことで国内農業が衰退し、食料の自給率が低下したこと | 2. 米の買い占めを発端として、全国の主要都市で民衆が米屋などを襲撃する米騒動が頻発したこと | 3. 幕府が経済を安定させるために、商品の流通を独占していた株仲間を解散させ、自由な取引を禁じたこと | 4. 幕府が国内からの金流出を防ぐために貨幣の質を大幅に下げたことや、輸出による国内の品不足が生じたこと |
|---|--|--|--|
- 問3 1854年に締結された日米和親条約によって、下田と函館の2港が開港された主な目的はどのようなものでしたか。背景を含めた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 関税自主権を放棄し、外国との本格的な輸出入を開始するため | 2. アメリカ船の遭難救助や、薪水・食料などの補給を行うため | 3. キリスト教の布教を許可し、西洋の文化を広く取り入れるため | 4. 蝦夷地（北海道）の開拓を促進し、アメリカへ輸出を行うため |
|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
- 問4 幕末の社会混乱を描いた資料の中には、人々が「ええじゃないか」と唱えながら町々を熱狂的に踊り歩く姿が記録されています。この騒動の背景と特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 社会の仕組みの変革を求める民衆の期待と、先行きの見えない不安が入り混じった世直しの動きの一つであった。 | 2. 廃藩置県によって自分の領地がなくなることに反対した武士たちが、農民を扇動して起こした政治的な反乱であった。 | 3. 明治政府が推進した文明開化の政策を歓迎し、新しい文化を受け入れるために民衆が自発的に始めた祝祭であった。 | 4. 鎖国体制を維持しようとする江戸幕府を支持するために、都市の住民が攘夷の決意を固める目的で行ったデモ活動であった。 |
|--|--|---|---|
- 問5 19世紀半ば、イギリスは他国に先駆けて産業革命を達成し、大量の工業製品を世界中に輸出しました。当時のイギリスの経済的な繁栄ぶりを象徴する呼び名を次から選びなさい。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|-------------|-----------|
| 1. 世界の工場 | 2. 文明の十字路 | 3. 太陽の沈まない国 | 4. 自由貿易連合 |
|----------|-----------|-------------|-----------|
- 問6 産業革命期に成立した「工場制機械工業」と、それに伴う人口の動きについて正しく述べたものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 機械化により労働力が必要なくなったため、人々は仕事を求めて都市から離れ、全国各地の農村へ分散して定住するようになった。 | 2. 蒸気機関などの動力を利用した機械が工場に導入されたことで大量生産が可能になり、多くの労働者が集まった都市へ人口が集中した。 | 3. 手作業を中心とする工場に多くの労働者が集まって分業を行う形態が普及し、農村部での人口増加が顕著になった。 | 4. 工場での生産が衰退した代わりに、自宅で製品を加工する家内工業が中心的な産業となり、都市の人口は減少に転じた。 |
|--|--|---|---|
- 問7 幕末の政治的な混乱を招いた「桜田門外の変」が起きた理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 異国船打払令を緩めた幕府が、外国船の日本近海への接近を許し、沿岸の警備が手薄になったことに武士たちが憤ったため。 | 2. 将軍が政権を朝廷に返す大政奉還を表明したことに納得がいかない武士たちが、幕府を存続させるために実力行使に出たため。 | 3. 大老の井伊直弼が、天皇の許可（勅許）を得ないまま日米修好通商条約を締結し、反対派を安政の大獄で厳しく処罰したことに反発が高まったため。 | 4. 日米和親条約によって下田・函館の2港が開港された際、外国との貿易による物価高騰に苦しむ農民たちが幕府への不満を爆発させたため。 |
|---|--|--|--|
- 問8 1862年、神奈川宿近くの生麦において、薩摩藩主の父である島津久光の行列を横切ったイギリス人を藩士が殺傷する「生麦事件」が発生しました。この事件の賠償を求めて翌年に鹿児島湾へ現れたイギリス艦隊と薩摩藩との間で起きた戦いと、その後の薩摩藩の動向について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 生麦事件の解決のために下関条約が結ばれ、薩摩藩は多額の賠償金を支払う代わりに、イギリスから最新式の蒸気船を譲り受けた。 | 2. 下関戦争が発生したが、イギリス軍を退けた薩摩藩は自信を深め、江戸幕府に対して異国船打払令を徹底するよう強く要求した。 | 3. 薩英戦争に勝利した薩摩藩は、イギリスとの間に日英通商航海条約を独自に締結し、領事裁判権の撤廃を認めさせた。 | 4. 薩英戦争が発生したが、この戦いを通じて薩摩藩は武力による攘夷の困難さを痛感し、イギリスへの接近や軍制の近代化へと方針を転換した。 |
|--|---|--|---|
- 問9 18世紀後半のイギリスでは、マンチェスターなどの都市を中心に、ワットが改良した蒸気機関などの新技術が導入されました。これにより、手作業による生産から機械を用いた大規模な生産へと移行し、社会の仕組みが農業中心から工業中心へと劇的に変化した出来事を漢字4字で何といいますか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 産業革命 | 2. 文明開化 | 3. 技術革新 | 4. 市民革命 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問10 1853年のペリー来航を受け、その翌年の1854年に江戸幕府がアメリカと締結した、日本の開国を象徴する条約の名称として正しいものを選びなさい。 (2019年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------------|-----------|---------|
| 1. 日露和親条約 | 2. 日米修好通商条約 | 3. 日米和親条約 | 4. 下関条約 |
|-----------|-------------|-----------|---------|
- 問11 幕末の政治において、幕府が朝廷との関係を深めて権威の回復を図った「公武合体」の具体的な事例として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|------------------------|------------------------|------------------------------|
| 1. 欧米諸国との間で結ばれた日米修好通商条約 | 2. 徳川慶喜が政権を朝廷に返上した大政奉還 | 3. 薩摩藩と長州藩が秘密裏に結んだ薩長同盟 | 4. 孝明天皇の妹である和宮と、将軍である徳川家茂の婚姻 |
|-------------------------|------------------------|------------------------|------------------------------|
- 問12 幕末の開港にともなう貿易の拡大は、日本の社会に激しい物価の変動をもたらしました。当時の人々がこうした生活の苦しさや社会の混乱を打破しようとし、「世直し」を求めて起こした行動や社会現象として正しいものはどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 農村での一揆や都市部での打ちこわしが多発し、「ええじゃないか」と唱えて踊り歩く現象が広がった | 2. 地価の3%を現金で納める制度に反対するため、全国各地で大規模な地租改正反対一揆が発生した | 3. 人権の平等を求めて全国水平社が結成され、差別を助長する経済秩序の変革を訴えた | 4. 劣悪な労働環境を改善するために、製糸工場の女工たちが日本で初めての労働争議を起こした |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 強硬な姿勢で来航したアメリカの要求に対し、戦争を回避するため、燃料や食料の供給を目的として二港を開き、開国へと踏み切った。	ペリーの強力な軍事力を背景とした開国要求に対し、幕府は国家の安全を優先して鎖国を断念しました。この段階での条約はあくまで「和親（友好）」と「補給」が目的であり、貿易についてはまだ認められていませんでした。自由貿易や領事裁判権といった内容は、4年後の日米修好通商条約において規定されます。
問2	答え 4 幕府が国内からの金流出を防ぐために貨幣の質を大幅に下げたことや、輸出による国内の品不足が生じたこと	開国当時の日本では金と銀の交換比率が諸外国と異なっていたため、大量の金が国外へ流出しました。幕府はこれを食い止めるために、金貨の質を落とした貨幣を発行しましたが、その結果として貨幣の価値が下がり物価が上昇しました。また、生糸や茶といった国内の重要産品が大量に輸出されたことで、国内市場が品不足に陥り、さらに物価高騰に拍車がかかりました。
問3	答え 2 アメリカ船の遭難救助や、薪水・食料などの補給を行うため	日米和親条約は、貿易を目的とした「通商条約」ではなく、あくまで鎖国を解いて船の安全や補給を確保するための「友好条約」でした。当時、北太平洋で捕鯨を行っていたアメリカにとって、日本は燃料（薪水）や食料を補給し、漂流民を救助するための拠点として非常に重要だったため、下田と函館の2港が開港地に選ばれました。本格的な貿易が始まったのは、1858年の日米修好通商条約以降のことです。
問4	答え 1 社会の仕組みの変革を求める民衆の期待と、先行きの見えない不安が入り混じった世直しの動きの一つであった。	「ええじゃないか」の騒動は、幕府の権威が衰え、新しい時代への転換期であった1867年頃に発生しました。これは民衆の間で高まっていた「世直し」への渴望や、現実の苦難から逃れようとする熱狂的な心理が結びついた現象であり、幕末の社会的な混乱をさらに加速させる要因となりました。
問5	答え 1 世界の工場	18世紀後半から始まった産業革命により、イギリスは圧倒的な生産力を誇りました。蒸気機関などの新技術を導入して綿製品などの工業製品を安価に大量生産し、世界各地の市場へ供給する中心地となったことから、このように称されました。
問6	答え 2 蒸気機関などの動力を利用した機械が工場に導入されたことで大量生産が可能になり、多くの労働者が集まった都市へ人口が集中した。	工場制機械工業は、自然の力（水車など）や人力ではなく、蒸気機関などの強力な動力を活用して機械を動かし、一箇所に集まった労働者が製品を大量に生産する仕組みです。この生産体制の確立は、職を求める人々を都市へ引き寄せ、社会の仕組みを農村中心から都市中心へと大きく変容させました。
問7	答え 3 大老の井伊直弼が、天皇の許可（勅許）を得ないまま日米修好通商条約を締結し、反対派を安政の大獄で厳しく処罰したことに反発が高まったため。	1858年に大老の井伊直弼は、天皇の許可を得ずに日米修好通商条約を締結しました。これに対して反対の声が上がると、井伊は「安政の大獄」で反対派の武士や公家を厳しく弾圧しました。この強権的な手法に対する激しい怒りが、1860年の桜田門外の変という暗殺事件を引き起こす要因となりました。
問8	答え 4 薩英戦争が発生したが、この戦いを通じて薩摩藩は武力による攘夷の困難さを痛感し、イギリスへの接近や軍制の近代化へと方針を転換した。	1862年の生麦事件をきっかけに、1863年に薩摩藩とイギリスの間で薩英戦争が勃発しました。薩摩藩はこの戦いでイギリスの圧倒的な軍事力を目の当たりにし、それまでの「攘夷（武力で外国を追い払うこと）」が不可能であることを悟りました。これを機に、薩摩藩は敵対していたイギリスと急接近し、武器の購入や軍隊の近代化を進めることで、後の倒幕運動の中心勢力へと成長していきました。選択肢にある下関戦争は長州藩が関わったものであり、下関条約は日清戦争の講和条約です。
問9	答え 1 産業革命	18世紀後半のイギリスで始まった、動力の革新と機械の導入による生産力の飛躍的な増大を指します。これにより資本主義経済が確立され、人々の生活や社会構造が根本から変化しました。選択肢にある「技術革新（イノベーション）」は産業革命に含まれる要素の一つですが、社会全体の変革を指す語としては「産業革命」が適切です。
問10	答え 3 日米和親条約	1853年に浦賀へ来航したペリーによる開国要求を受け、1854年に締結されたのが日米和親条約です。この条約により、幕府は下田（静岡県）と函館（北海道）の2港を開港し、アメリカ船に対して薪水や食料などの供給を認めることとなりました。1858年に結ばれ、貿易の開始を定めた日米修好通商条約と混同しないよう注意が必要です。
問11	答え 4 孝明天皇の妹である和宮と、将軍である徳川家茂の婚姻	公武合体政策を象徴する出来事が、14代将軍・徳川家茂と、天皇の妹である和宮（和宮親子内親王）の結婚です。幕府は皇族を将軍の妻に迎えることで、幕府と朝廷の一体感を演出し、失墜した幕府の権威を取り戻そうとしました。これに対して、薩長同盟や大政奉還は、幕府を中心とした体制そのものを終わらせようとする動きに関連する事項です。
問12	答え 1 農村での一揆や都市部での打ちこわしが多発し、「ええじゃないか」と唱えて踊り歩く現象が広がった	急激な物価上昇により生活が困窮した民衆は、幕府や商人に対して「打ちこわし」を行うなど、社会不安が募りました。このような中で、現状の変革を強く願う「世直し」の意識が高まり、伊勢神宮のお札が降ってきたという噂をきっかけに「ええじゃないか」と民衆が狂奔する集団乱舞などの社会現象が巻き起こりました。他の選択肢は、明治時代以降の税制改正や社会運動に関する内容であり、幕末の状況とは異なります。